

都市再生整備計画(第3回変更)

おのしおさいちく
大野潮騒地区

いばらきけん かしまし
茨城県 鹿嶋市

平成24年7月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	茨城県	市町村名	鹿嶋市	地区名	大野潮騒地区	面積	231 ha
計画期間	平成 21 年度	～	平成 25 年度	交付期間	平成 21 年度	～	平成 25 年度

目標

- 大目標:高齢化が進展する中で、地域住民が主導する安全で快適な生活空間の確保によるふれあい・安心のまちづくり
- 目標1:地域住民のくらしの交流拠点の形成とにぎわいの創出
- 目標2:交通結節点として駅の利用を促進することによって、緊急時における緊急車両の円滑な走行を確保する
- 目標3:住民主体のまちづくりを推進し、地域コミュニティの活性化を図る

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 本市は、平成7年9月1日に旧鹿島町と旧大野村が合併し市制を施行した。
- 本地区を含む大野地区は、「大野都市計画区域」として一般都市計画の非線引き都市であったが、平成20年5月29日に線引き都市の「鹿島臨海都市計画区域」に編入された。
- 本地区は、都市計画の変更に伴い、地区計画の区域を都市計画決定した区域を中心として、地区関連施設の整備を図ることを目的として、都市計画決定に向けての協議が進められている。
- 本地区は、市北部の拠点地区と業務、商業施設の整備が進められ、幹線道路として県道銚田鹿嶋線および荒井行方線の整備が進められている。
- 県道荒井行方線沿線には、本市出張所、大野消防署、旧大野商工会などの行政、業務機能が立地している。
- 本地区を縦断する鹿島臨海鉄道大洗鹿島線は、自動車交通の発達により、集客力が失われている状況にあるが、交通弱者と言われる高齢者や通学に利用する市民にとっては、なくてはならない公共交通となっている。
- その他の公共交通として、市民、行政等の関係者協議により、民間事業者によるコミュニティバスが運行されている。
- 本地区を含む大野地区は、非線引き都市であったことから小規模な宅地造成が進行し、道路の位置の指定を受けた、行き止まりの区画道路が数多く存在する。
- 宅地造成の区域が点在することや地区住民の高齢化の進展により、住民の交流が希薄となり、ふれあいの機会が減少している。
- 住民交流や生涯学習の拠点である大野まちづくりセンターが老朽化したことから、地域住民を主体とした建設検討委員会を組織し、施設計画の内容や進め方について協議を行った。

課題

- 本地区は本市北部の拠点地区として、都市機能の向上等の進捗が期待される地区であるが、現在のところ道路整備、駅前広場、土地の有効活用、火災・地震時の安全性や避難経路の確保など住環境の整備が十分に行われていない。
- 住民が交流する大野まちづくりセンターは、本地区の交流の中心施設として昭和53年に竣工したが、老朽化による機能不足や、建物の耐震問題など抱えているため、更新による機能回復と市民が憩える周辺の広場の整備など、中心地区として市民が交流できる抜本的な解決策が必要とされている。
- 地区内に存在する鹿島臨海鉄道の駅と幹線道路である県道銚田鹿嶋線とのネットワークが脆弱であり、交通結節点としての活用が図られていない。

- 新鹿嶋市総合計画では、基本理念である「豊かな心あふれるまちの創造」をすべての人が意識し共有しながら、鹿嶋市ならではの誇りとして、スポーツや自然、歴史や文化を守り、育てる「すべての市民が将来的にも住みたいと思うまち」、「すべての人々が訪れてよかったと思うまち」をつくることによって、「さまざまな交流のあるまち」を目指している。
- 鹿嶋市都市計画マスタープランでは、当該地区のまちづくりの目標を「北部の拠点を形成し、自然と共存したゆとりあるまち」とし、基盤整備を進めている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		目標値	
			従前値	基準年度	目標年度	
地域交流センター利用者数	人/日	地域交流センターを利用する人数	236	平成20年度	300	平成24年度
開発不能面積	ha	宅地開発の基準を満足していない面積	26	平成20年度	15	平成25年度
住宅戸数	戸	大野出張所を中心に徒歩5分(1km/15分)以内の住宅戸数	65	平成20年度	110	平成25年度

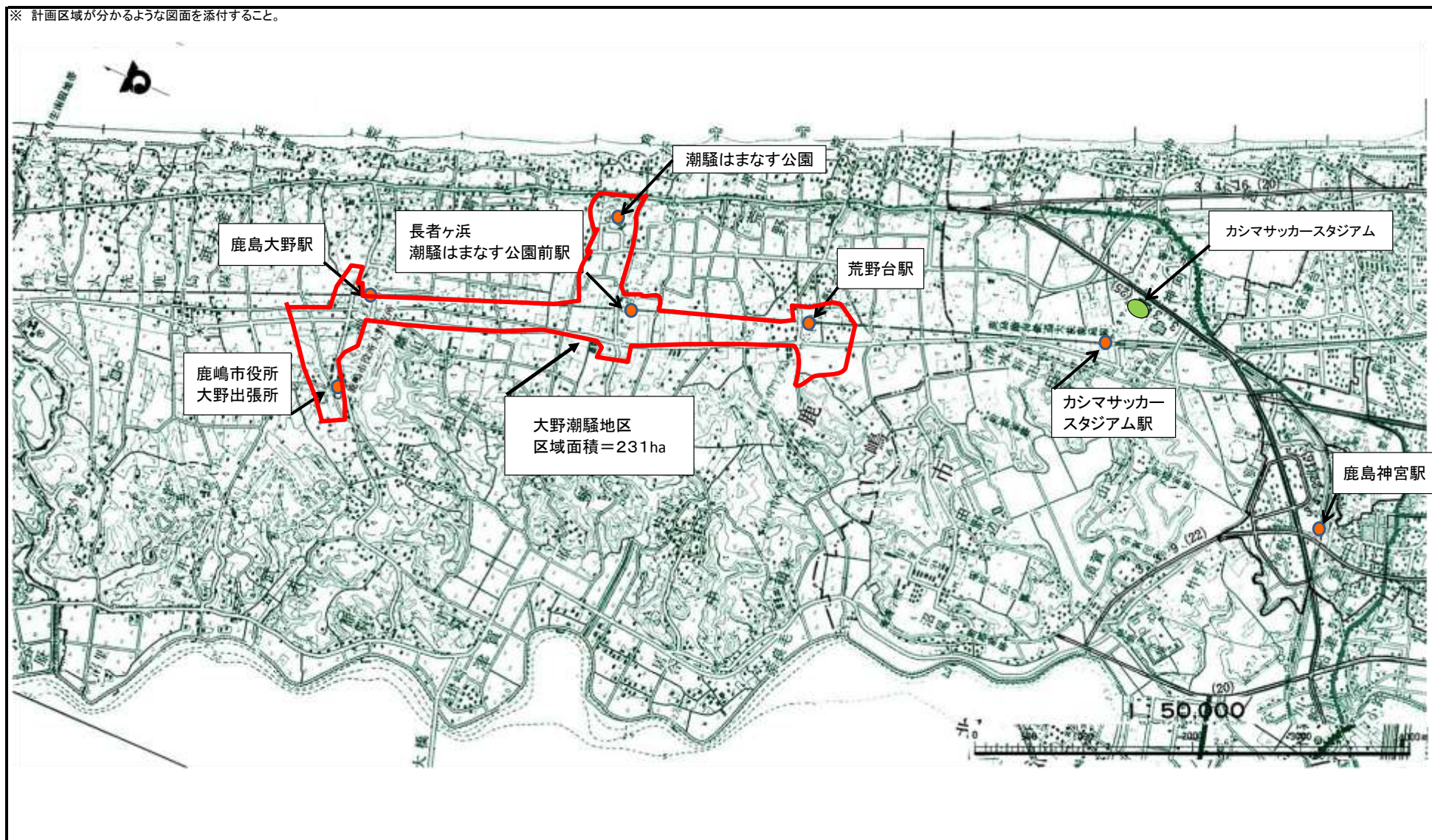
都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・整備方針1 地域住民のくらしの交流拠点の形成とにぎわいの創出 市民活動の拠点となる高次都市施設と図書館および庁舎機能を併せ持った複合施設を整備することによって、活気あふれるにぎわいを創出する。</p>	<p>・基幹事業／高次都市施設(地域交流センター／(仮称)大野まちづくりセンター) ・提案事業／地域創造支援事業(公共公益施設／(仮称)大野まちづくりセンター図書館) ・提案事業／地域創造支援事業(公共公益施設／大野まちづくりセンター・大野出張所解体)</p> <p>・関連事業／(仮称)大野まちづくりセンター庁舎</p>
<p>・整備方針2 交通結節点として駅の利用を促進することによって、緊急時における緊急車両の円滑な走行を確保する 道路を整備することによって、交通結節点としての駅の機能強化条件を整備するとともに、緊急時における緊急車両の円滑な走行空間を確保する</p>	<p>・基幹事業／道路事業(鹿島大野駅周辺地区地区計画区域／区画道路3、4号線) ・基幹事業／道路事業(はまなす公園前駅周辺地区地区計画区域／市道4419、4420号線) ・基幹事業／道路事業(荒野台駅周辺地区地区計画区域／市道4423、4424、4425、4426号線、4015号線)</p>
<p>・整備方針3 住民主体のまちづくりを推進し、地域コミュニティの活性化を図る 年齢を重ねても地域コミュニティを容易に継続できる住環境を整備するとともに、市民誰もが快適安全に利用できるふれあいの場としての広場を区域の中心に配置し、地域住民のコミュニティの熟度を高める</p>	<p>・基幹事業／道路事業(鹿島大野駅周辺地区地区計画区域／区画道路8、14、15、16、17、18、19号線、市道0252、1002号線) ・基幹事業／公園(鹿島大野駅周辺地区地区計画区域／津賀地区施設公園) ・基幹事業／地域生活基盤施設(広場／(仮称)大野まちづくりセンター広場)</p> <p>・提案事業／地域創造支援事業(道路雨水排水整備)</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業終了後のまちづくり ・地区計画区域の地区施設である道路の整備については、事業終了後も地域住民が主体となって取り組んでいく。 ・転回広場及び自由通路の整備を行い、地区施設である駅の機能強化を図る。 ・転回広場と道路の整備に併せてコミュニティバスの乗り入れを検討して、交通結節点としての機能向上を図っていく。 ・地区施設公園の管理を地域住民が主体となって実施していく。 	

都市再生整備計画の区域

大野潮騒地区(茨城県鹿嶋市)	面積	231 ha	区域	大字津賀の一部、棚木の一部、和の一部、角折の一部、荒野の一部、林の一部
----------------	----	--------	----	-------------------------------------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



大野潮騒地区(茨城県鹿嶋市) 整備方針概要図

目標	地域住民が先導する安全で快適な生活空間の確保によるふれあい・安心のまちづくり	代表的な指標	地域交流センター利用者数 (人/日)	236	(H20年度)	→	300	(H24年度)
			開発不能面積 (ha)	26	(H20年度)	→	12	(H25年度)
			住宅戸数 (件/年)	65	(H20年度)	→	110	(H25年度)

